

阪神大地震発生 震度 7 !!

大府市に大地震が発生したら

大府市防災担当庶務課
浜島課長をお迎えして
災害対策等を聞く

大府市役所庶務課浜島課長
婦人代表鈴木久子
コミュニティー山田徳男会長

Q 大府市としての、災害対策として一言お願いします。

浜島 大府市としての、防災計画もありますが、地震対策としては、東海大地震を想定した防災計画が中心となっています。この辺の地域では、震度5ぐらいではないかと、予想されています。今回の阪神大地震を、顧みまして思うことは、直下型大地震が発生した場合市役所の職員、その他行政側の人も、皆、被災者の為、救援活動、医療活動等で、思うような活動が出来る

災害対策について

大府コミュニティー
ふれあい

編集発行

大府コミュニティー
推進協議会
ふれあい部会
事務局
大府公民館
TEL 48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

なくなる心配があります。大府市としても、直下型大地震が発生した場合を想定して、防災計画を見直す必要ありと、考えています。

Q その基本は、『自主防災と住民相互の助け合い』になるのでしょうか。

浜島 そうですね。色々な考えがあると思いますが、まず家庭で自らを守るといふことですね。家内でケガ等をしていふよう、家具等の倒壊を防ぐようにすれば、被災も少なくなると思います。

それから、救出するという事については、地域、自主防災の力が非常に大きいですね。行政側が救援にいくまで助け合う自主防災という考え方を、徹底すれば、被害も最少限度に食い止める事が出来るのではないのでしょうか。

Q 助け合いという言葉が出ましたところで、大府コミュニティー会長として一言。

山田 大府市においては、避難場所が小、中学校、公民館、福祉会館等、多くあるのが、幸いではないでしょうか。

避難場所はどこ？

浜島 大府市全域には、地震時の指定避難場所は十八ヶ所、その内大府地区

には、大府小学校、大府中学校の2ヶ所あります。

鈴木 桃陵高校、横根体育館は？

浜島 両方共、埋立地で地震時は、危険な為、指定していません。

鈴木 火災も恐いのですが、プール、池等の水は、使用可能でしょうか？

浜島 可能です。また災害対策のため飲料水用に、汙過機を準備しており、防災訓練に使用したこともあります。

Q 婦人会の方々の避難場所でのボランティア活動としましては何か。

鈴木 食べ物のお世話等、出来る限りの事は、したいと思っています。

Q 訓練などは、されていますか。

鈴木 そんな事は、訓練などしなくても出来る事では、ないでしょうか。

Q 色々ご意見がでしたが、最後に一言、お願いします。

浜島 災害後、救援物資等が届くまで二日間位は、自らの力で自分の命を守るように心掛けたいですね。災害に強い街づくりにも必要ではと考えます。

鈴木 ご近所との付き合いを大切にし、避難する時などに声をお互い掛け合う事が、被害を少なくすると思います。

山田 懐中電灯、ラジオ等は各自で、確保しておきたい。自主防災が災害を小さくするのではないのでしょうか。

(二月十六日 大府公民館にて)

阪神大地震、被災者の方々へ心より、御見舞申し上げます。

青少年育成フォーラム

『それぞれの家族』

かるがも部会 永田 タツミ

一月二十二日部会活動で、フォーラムを開催いたしました。六年度は「国際家族年」にあたり、テーマを「それぞれの家族」とし、基調講演に豊田短期大学教授の谷田沢典子氏、コーディネーターには名古屋大学教授の新海英行氏をお招きしました。

講演の中で一五世代や、イルカ世代と呼ばれるがらの世代間の移り変わり、



生活の多様化による利害や、少子化時代のトラブル、三次産業の発達と女性の仕事持ちが増える中で家族の絆が薄れつつある今日、しかし社会的な相互関係の中で家族を勉強し、良い家族を作る雰囲気作りの大切さ、身近な地域の中で助け合ってモデルコミュニティ作りを実践して、とお話であったと思います。

パネラーには身近な団体の代表の父、母に登壇していただきました。我家の家族など皆さんにお聞かせする事は皆無と言っていた面々もいざ発表となるとなんのなんの聞かせる事の多大なこと、子育ての一コマ、親子のコミュニケーション作り、地域とのかかわりが我家をハッピーにしていること等、又国際的な雰囲気作りをチョッピリとの思いで、市の国際交流員のキャサリンさんにも仲間に入っていたいただきました。彼女の国では家族と一緒に過ごす時間をとっても大切にしている。——子育てには男女の差別をしない。友達との遊び時間はとても大切で仕事に就いた今でも遊びの時間をタツプリととっている等、彼女の家族を知る事が出来ましたが、彼女自身が我々の家族の事を事細かに勉強し見抜いているのには感心する一コマも多くありました。

家族のふれ合い、家族作りから地域作り、家族を支援してゆく仕組み作り、とそれぞれの大切さを認識する良い機会でした。

特別養護老人ホーム 慰問を終えて

かたらい部会長 斉藤 重子

部会では、毎年好評である特別養護老人ホームの慰問を、今年も「頑張ろう」と、五回の練習日を決め、部員一同演出家のつもりになり意見を出し合い、衣装を考え和きあいあい練習を重ねました。お土産にお菓子、アメ、皆んなで持寄った、タオル、石鹸等を用意して、二月八日に老人ホームの慰問を行いました。

ホームでは、早春の日ざしの中で、おじいちゃん、おばあちゃんが元気なお顔で迎えて下さいました。早速衣装に着がえ、歌、踊り、太鼓と披露しました。中でも花嫁人形の歌に合せ花婿、花嫁さんが登場し会場で



は、昔をなつかしんで涙ぐむ方、又一緒になって手拍子を打って口ずさむ人、踊りの輪に入って踊る人、あつという間に一時間が過ぎ、お別れが名残り惜しく、生きいきした笑顔で「有難う、楽しかった」と、握手の手に力が入り、心から喜んでいただきました。協力し合い頑張った甲斐があったと全員、感動の日でした。

月2回土曜休みの 過ごし方のアンケート

※両親が仕事をもっているので休みにながらも一緒にすごす時間は以前とかわらない。

(中・高生の親)

※父親の仕事がないかぎり、家族で出かけたり、遊んだりしている。

(小学生の親)

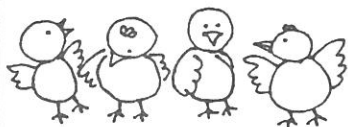
※子供たちはそれぞれ友だちと遊んでいる。

(小・中生の親)

※友だちどうし遊んでいることもあるが、二・三家族で出かけることもある。

(小学生の親)

※今までとかわらないと思う。(小学生の親)



交通安全

「交通死亡 事故防止」

大府幹部交番
所長
磯 部 宣 和

大府市では、本年すでに一月だけで三件三名の交通死亡事故が発生しています。これらの死亡事故を検証してみますと三件中二件が大府市在住の方であり、しかも、第一原因者です。スピードを控え交差点では徐行、又は、一時停止をして安全確認を徹底していればこれらの事故は防止できたものと考えています。

交通事故は、自分が被害者、加害者になると考えている人は、ほとんどいません。「この際自分だけは…」という例外意識を捨て、今一度、家族全員で交通事故の当事者とならないように真剣に話し合ってください。

車社会から逃れることのできない現代社会に於いて一人ひとりが、「交通ルール」を確実に守り、いたわりの心を身に付けていきたいものです。

『愛知県警では、昨年に引き続き「チャレンジ四〇〇」に再挑戦し、官民一体となって交通死亡事故の防止に取り組んでいます。私共は、健康づくり都市大府をめざして、住み良い明るい街づくりの為に協力し、交通事故を一件でも減少したいと考えています。』

みんなで守ろう 交通安全

やすらぎ部会 永田 てる子

二月四日午後より、大府公民館ホールで、「交通安全啓蒙の午後」を開催しました。今年もすでに三名の死亡事故が発生しております。市民の交通安全に対する認識を深めるため、大府コミュニティ主催で、子供会、婦人会、長寿会等の各団体の協力で、三百名以上の多数の参加をいただきました。

大府交番所長より現状報告と交通安全に対する注意、交通安全アニメ映画、ケンちゃんと木子おじさんの腹話術、交通安全宣言を大府婦人会長の片桐さかゝさんのリードで、参加者全員の唱和、最後にやすらぎせんさいを、皆さんでいただき楽しみながら、事故を起さないよう呼びかけ終了いたしました。



第 13 回 大府公民館



芸能祭

去る二月二十六日に開催されました第十三回大府公民館芸能祭では、日頃の練習の成果が発表され、会場の皆様に大いに楽しんでいただくことができました。準備、運営にご協力いただいた実行委員の皆様、出演いただいた利用者の皆様、そして、多数ご来場いただいた地域の皆様のお蔭をもちまして、盛大に開催できました。ありがとうございました。

大府公民館長 鈴木 眞

〔厄除け祈願及び節分豆まきについて〕

29・30大府午羊会（会長 岡田 実）

我々昭和29・30大府午羊会（旧大府小学校区の卒業生及び大府自治区内に家庭を構えた60名）の会員は、本年度本厄を迎えるに当たり去る2月3日専唱院（浄土宗）において、厄除け祈願及び節分の豆まきに参加させて頂きました。

人生には幾多の厄がありますが、中でも我々にとっては古来より人生の節目とも言われている厄歳に、神社等に詣ってお祓いを受け清々しい気持ちで災難等を取り除くことに注意をはらいながら、この一年を過ごすことを仏様に誓いました。

『鬼（災難）はゼロ・福（幸せ）は皆様へ』



おのこの人

天使の声です 楽しい歌を

愛知ムジカ少年少女合唱団

田村文英さん ― 若草町三ー

平成元年、大府児童合唱団結成、現在、「愛知ムジカ少年少女合唱団」と改名、『ムジカ』とは、ドイツ語で、「音楽」の意味です。いま団員は、小学三年生から高校一年生までの、少女達三十二名、もっと多くの子ども達に参加してほしいのですが、中学に進むと、「部活」と重なって退団してしまうのが現状です。

何年も練習をつみかさねてきたのに、大変残念に思います。

定期的な活動は、二年に一度の発表会、クリスマスイヴには、リレイションビルで（桃山町五、交差点北東角）「キャロル」を歌っています。他には、オペラ、ミュージカルにも出演しています。昨年夏の、三重まつり博のキャラクター「ミポラ」のテーマソングも、私達の「ムジカ」が歌っていたんですよ。

四月には名古屋で歌います。ぜひおいで下さい。

私が少年少女合唱団を始めたきっかけは、いまから二十年前のことです。



写真・後列左より二人目が田村さん

卒団して大人になった先輩達と、現団員とのジョイントコンサートを見たときです。

楽しく歌っている仲間達の姿に、年令差などまったくなく感銘しました。もうひとつは、なんといっても、子どもしか持っていない「天使の声」です。天才少女ピアノリストや、ヴァイオリニストといった「神童」はたくさんいますが、彼らは、みんな大人への課程であり、成人とともに、より才能を発揮することが出来ます。

しかし、歌はちがうのです。変声期前の、わずか四、五年が命です。

この短い期間にしか存在しない「宝物」を大切に育てていきたいと思いました。

これからは、海外での演奏活動、世界の民族文化と、日本の民謡、わらべ歌を中心に、交流を深めていこうと考えています。

練習日は、四月より学校休日の、第二、第四土曜日と、第一、第三日曜日の、午前九時半から十二時まで、市民ホールほかで行っています。

ぜひ練習風景をごらん下さい。来春には、オリジナル曲も発表します。いままでの、合唱スタイルにこだわらず、目で観て、耳で聴いて、いっしょに楽しめる「合唱団ムジカ」をめざし活動していきます。

愛知ムジカ
少年少女合唱団
連絡先は
四四二二五二一
田村まで

大府コミュニティ

開催事業

参加ありがとうございます。
ごとうございました。

田村まで

ちよつとお散歩!

ザ・公園

大府学区内の「公園ガイド」は、三十一番目のアラタ公園でひとまず終り。新しい公園予定地は、「若草公園」（二丁目地内）で、目下、「区画整理事業」により進行中。

アラタ公園に、新型遊具「ザイルクライミング」が設置されました。ぜひおためしください。

なお、市事業として、「二ツ池総合公園」、「白鮎池公園」が、平成七年度から順次本格着工いたします。

編集後記

平成六年度の「ふれあい」も、この二十九号で最後となります。次回は記念すべき三十号ノ!

計画では、現在のB5サイズから、A4サイズとなり、内容もより一層読んで楽しんでいただけるようがんばります。

自然を大切に